

キックオフ

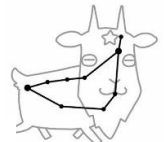


道徳教材『アイツ』感想文

幼なじみの真一と夏樹が、思春期を迎え、互いの気持ちの変化に戸惑い、悩み、葛藤しながら成長していく姿を通し、この年代の異性間における人間関係について考える…

そんな甘酸っぱい気持ちになる教材を、堺先生（46歳）が担当しました。私は甘酸っぱい気持ちなんてとっくの昔に忘れてしまいましたが、みなさんはどんな感想を持ちましたか？今日の教材を思い出しながら、他の人の感想を見てみましょう。

むつき
睦月
1月



やぎ座

発行日：1月18日

発行者：1年生学年主任 堺

Q これからの二人の関係では、どんなことを大切にしていかなければ

ならないのだろう。 ●言葉選び。 ●支え合う気持ち。 ●ハンカチは二つ持ち歩く。

- 自分の気持ちを相手に伝えることが大切だと思います。 ●ケンカしたときは、どっちから話しかけないと仲直りできないから、話しかけに行く勇気が大切だと思います。
- 距離感を大事にする。 ●思いやりと感謝の気持ち。 ●その時の感情にまかせて、ひどいことを言わない。 ●互いに思いやる気持ち。 ●ケンカしてもすぐにどっちかが先に謝ること。
- お互い褒め合う。 ●どっちもが先に謝れるといいと思った。二人ともが気が強くてはいけなから、相手の気持ちを考えることも必要だと思った。 ●最初は二人とも「もういいや」となっていたが、後から二人思い合っていたので、この二人には思い合うことが大切なんじゃないかなと思いました。 ●くそ～、アイツにこけたところを見られた。俺としては恥さらししかない。明日何て言おう。休みの日に好きな食べ物おごってあげようかな？本当に「感謝しかない」と言おう。 ●自分がいいと思ってしていることも、相手にとってはダメなことかもしれないから、そこのお互いの関係をしっかり考えることを大切にすればいいと思った。
- お互い強がらずに、本音を打ち明けた方が気持ちよく生活できるから、そのことを大切にすればよい。気まずい関係でもどちらかが勇気をふりしぼって話しかけたら、お互い気まずくならない。
- 二人の関係の中でも、関係ないことだってあるけれども、二人が出会えたことが「奇跡」かもしれないから、その関係を壊さずに大切にしていっていった方がいいと思った。2か月間ずっと口をきかなくて、久しぶりに話しかけるのも勇気がいると思った。
- 「言う勇気」真一と夏樹はなんも言わなかったから。言う勇気があればめちゃくちゃ話せるからこれが必要だと思った。 ●相手とトラブルにならないように、強い口調で言わないことが大切だと思った。 ●ケンカをするのは別にいいけど、言い方を気をつけることを大切にしていかないとダメ！相手の気持ちを考えながら、自分の意見を言ったらこんなことにはならないと思う。